

IPS 就労支援 実践と原理

IPS 就労支援の概要

IPS 就労支援は、精神保健上の問題を有する人々が、彼らの希望する普通の仕事に就くことを援助するものです。就労支援には様々なものがありますが、IPS（個別職業紹介と援助付き就労）は、科学的エビデンスに基づいた実践であることが特徴です。キャリアを向上させるための教育や技術訓練の支援も IPS の実践に含まれます。

IPS 就労支援の特徴

- * 科学的エビデンスに基づいた実践です。
- * 支援者は個人のストレングズに焦点を当てた支援を行います。
- * 就労によるリカバリーとウェルネスを目指します。
- * 支援者は州就労リハビリテーション局のカウンセラーと協働します。
- * IPS 就労支援は多職種連携チームを活用します。
- * 個別支援を原則とし、支援は利用者が必要とし、希望する限り継続します。
- * IPS 就労支援は精神保健サービスの提供方法に変化をもたらします。

IPS 就労支援の実践原理

1. 一般就労に焦点を当てた支援：IPS 就労支援を提供している団体は、働くことを希望するあらゆる精神保健上の問題を有する人々にとって、一般就労を実現可能なゴールとして掲げ、それに向けて支援を提供します。教育や技術取得のための訓練制度の活用はキャリア向上に役立つことがあり、その導入も支援対象となります。
2. 支援の可否は利用者の選択のみにゆだねられる：就労準備の程度、診断、症状、薬物依存歴、入院歴、ホームレス、重症度、触法歴などで、支援から除外されることはありません。希望する全ての人々が支援を受けられます。
3. リハビリテーションと精神保健サービスの統合：IPS 就労支援は精神保健支援チーム内に統合され運用されます。
4. 個人の好み、選択に注目する：サービスの内容は、個人の好みや選択によって組み立てられ、支援者の評価によって決定されません。
5. 個別保障制度相談：就労支援員は、支援を受ける各個人が、社会保障、医療保険、その他の国家資格に関する正確で分かり易い情報を入手できるよう支援します。
6. 迅速な職場調査：IPS 就労支援は、時間のかかる就労前評価、訓練、カウンセリングなどを回避し、利用者が直接就労を出来るよう、支援早期に職場調査を開始します。就労支援計画に教育制度の利用などが含まれる場合は、就労支援員はそれが実行できるよう支援を行います。

7. 計画的な職場開拓：就労支援員は、求職者の希望に添って探した雇用主を計画的に訪問し、職場のニーズや雇用主の希望などを調査します。
8. 期限を定めない個別支援：就労支援は個別に行われ、利用者が支援を必要とし、希望する限り継続します。

The IPS Employment Center at The Rockville Institute
January 2017